## 旭川市報道依頼

	他川巾報追依賴
各報道機関 様	発表日 平成2年 2月 7日 発信課 旭川市保健所 保健総務課 担当者 池田 真由美
	連絡先 電 話 0166-25-6354  FAX 0166-26-2912  E-mail hokensoumu@city.asahikawa.lg.ip
分 類	ー   E-mail <u>nokensoumu@city.asanikawa.ig.jp</u> イベント・行事
日 程	令和2年2月29日 土曜日 14:00~16:00
	在宅医療市民講演会
発表項目 (行事名)	「できることをできるだけ」〜最期まで自分の家で過ごすために〜
概 要 (趣旨・日時・場所・内容とと。)	在宅医療とは、「できる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けたい」というご本人の思い、ご家族の思いを大切にしながら、医療と介護の専門職が連携し、住み慣れた自宅や施設での療養生活を支える仕組みです。今後、高齢人口が増加し、慢性疾患を抱える方も増加することが予測される中では、誰しも在宅医療が必要となる可能性があります。 今回は、皆さんに在宅医療を学んでいただける機会となるよう、鈴木央氏を講師に講演会を行います。 鈴木氏は「在宅医療に取り組み、がん緩和ケアなども行っている医師」です。父である鈴木壮一氏が日本に紹介したホスピス、ターミナル・ケアの概念を引き継ぎ、プライマリ・ケア、特に在宅ケアを専門としています。 〇日時:令和2年2月29日(土) 14:00~16:00 〇会場:星野リゾートOMO7 旭川 3階「彩雲の間」 〇内容:講演「できることをできるだけ」~最期まで自分の家で過ごすために~ 〇講師:在宅医療医歯薬連合会会長/在宅療養支援診療所連絡協議会副会長/東京都大森医師会理事/鈴木内科医院院長 鈴木 央 氏 〇参加費:無料 〇申込み:不要 〇お問い合わせ:旭川市医師会 電話 23-5728 旭川市保健所 保健総務課 電話 25-6354
添付資料	有 チラシのデータを添付します。 ※ 有の場合、資料の内容を記入すること。なお、別途冊子等の配付を希望する場合は、その旨記入すること。
報道(取材)に 当たってのお願 い	開催に向けて市民の方々に広くお知らせしたいため、よろしくお願いいたします。
備考	



## 在宅医療

市民講演会

~人生100年時代~

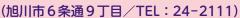
最期の自分を想いましょう。自分らしくその日を迎えるためにもう少し在宅医療について学びませんか?

日時

令和2年2月29日午後2時~午後4時



星野リゾート OMO7 旭川 3階「彩雲の間」





地域住民•医療介護関係者



講演

## 『できることをできるだけ』

~最期まで自分の家で過ごすために~



在宅療養支援診療所連絡協議会副会長/東京都大森医師会理事 鈴木内科医院院長

鈴木 央 先生



1987年 昭和大学医学部卒

1999年 鈴木内科医院(東京都大田区)副院長を経て、2015年から同院院長、父である鈴木荘一氏が日本に紹介したホスピス、 ターミナル・ケアの概念を引き継ぎ、プライマリ・ケア、特に在宅ケアを専門としている。

## <学会資格>

日本プライマリ・ケア連合学会認定医、指導医

<学会役職等>

日本プライマリ・ケア連合学会 評議員/日本褥瘡学会 評議員 在宅医療委員会委員/在宅医療助成勇美記念財団 理事

■ 共 催:旭川市医師会・旭川市

講師 紹介